

宇宙開発の現状報告

(平成 24 年 10 月 25 日(木曜日) ~ 平成 24 年 11 月 7 日(水曜日))

平成 24 年 11 月 8 日
宇宙開利用部会事務局

宇宙開発に関する国内の動向

- 西田篤弘宇宙科学研究所名誉教授の文化功労者の決定について
11 月 3 日(土曜日)、政府及び文部科学省は、平成 24 年度の文化勲章受章者と文化功労者を発令した。文化功労者には、西田篤弘宇宙科学研究所名誉教授が選ばれた。西田名誉教授は、宇宙空間物理学が専門で、宇宙空間でのプラズマ物理現象を解明し、標準理論となったプラズマ圏形成理論を提唱した。また日米共同プロジェクトのジオテイル衛星を主導し、衛星の観測により次々と新しい成果を生み出した。1996 年から 2000 年まで宇宙科学研究所長を務めた。

宇宙開発に関する海外の動向

- 中国、長征 3C ロケットによる航行測位衛星「北斗 2 号」シリーズ 16 機目の打上げに成功 【中】
10 月 25 日(木曜日)9 時 15 分(世界標準時、以下同じ)、中国は西昌衛星発射センターから、長征 3C ロケットによる航行測位衛星「北斗 2 号」シリーズの 16 機目(Beidou-G6)の打上げに成功し

た。

- ロシア、プログレス補給船 M-17M(49P)の打上げに成功 【露】
10 月 31 日(水曜日)7 時 41 分、ロシアはバイコヌール宇宙基地から、ソユーズ U ロケットによるプログレス(Progress)補給船 M-17M(49P)の打上げに成功した。プログレス M-17M は打上げから約 5 時間 52 分後の同日 13 時 33 分に、ISS(国際宇宙ステーション)のズベズダ(Zvezda)モジュールの後方ポートにドッキングした。
- ロシア、プロトンロケットによるデータ中継衛星「Luch-5B」と通信衛星「ヤマル 300K」の同時打上げに成功 【露】
11 月 2 日(金曜日)21 時 4 分、ロシアはバイコヌール宇宙基地から、プロトン M/ブリーズ M ロケットを打上げ、ロシア連邦宇宙庁(FSA)のデータ中継衛星「Luch-5B(Loutch-5B)」及び露ガスプロム・スペース・システムズ(Gazprom Space Systems(GSS))社の静止通信衛星「ヤマル 300K(Yamal-300K)」の所定の軌道投入に成功した。